

特別招待の部

(五十音順・敬称略)

書道

正岡子規「竹乃里歌」

真	東京都江東区 観	岡田 契雪
若山牧水歌	日高町太田	岸本 聖城
和楽全し	中央町	坪内 翠楓
寿	瀬戸	西村 鶏洲
	船町	細川 翠楠

写真

急雷にびっくり鶴

中央町 二位 岡野

彫刻・工芸

椿文鉄塗壺

養父市 富田 真理子

招待の部

(五十音順・敬称略)

絵画

招待優賞

愛彩の世界 - こんにちは -

下宮 加藤 裕

評

色の美しさ、安定感ある描写力、人物の表情（特に目）、床に散らばった積み木の表現などに惹かれました。また、幻想的な空間が心地よいリズムを醸しだしており、作者のイメージ世界にずっと入っていける、とても素敵な作品だと思います。薔薇の花は、何か特別に大切なものを象徴しているのでしょうか。（初田）

招待作品

スペース（コロナの時代）	戸 牧 岩本 幸夫
黒い太陽	森 岸田 太朗
森の夜	一日市 岸本 喜朗
生生世世	金剛寺 木下 峰全
古代との再会	養父市 児島 勝
栄螺形兜考	戸 牧 佐伯 武彦
冠	引 野 竹村 一博
春の山に行きましょう	出石町町分 成田 壽郎
林	木 内 西村 弘昭
花たち	中央町 松田 康男
秋のカーテン、回る風	下 陰 保田 恵莉

書道

招待優賞

王 絨 詩

宮 島 細川 太翠

評

日本書芸院展の「魁星展」で大作を発表された影響か、線質が充実してしっかりと紙を捉え、重厚に仕上がっています。更に磨きをかけてポイントになる文字が冴えてくると、一段の上達が見えてくるでしょう。（明石）

招待作品

古	詩	正法寺	石田 碩雪
趙子昂	詩	京丹後市	岡崎 青華
野口雨情	詩	畑上	小川 芳翠
崔峒	詩	京丹後市	柿本 華容
夜次弋陽	京町	垣谷 碧葉	
代明月何皎皎	京丹後市	京崎 操風	
酬周參軍	竹野町林	大部 行堂	
蔡希寂	詩	立野町	谷川 玄龍
雁門太守行	日高町江原	友田 鶴汀	
周昂	詩	日高町夏栗	野澤 碩雲
月	今 森 原 昌 鶴		
袁黃	詩	江本 藤田 脩翠	
小倉百人一首	壽町	細川 栄香	
高村光太郎	詩	気比 山下 梢風	
紅	葉	正法寺	和田 孝苑

写真

招待優賞

春光
森津橘喜代子

評

玄人好みの表現ですね。繊細な流れの滝の表情に光が差し込み、趣のある画面を演出しています。明暗の変化が画面にメリハリを与え、岩場に落ちた椿の姿が浮き立って見えます。ややアンダー気味の露出設定が功を奏し引き締まったイメージに仕上がりました。（江口）

招待作品

零下の親子 赤石飯尾寿久
天地明察 大手町入江良一
盛 夏泉町 武田良雄
村の一本橋 妙楽寺松岡煌三

彫刻・工芸

招待優賞

コロナ禍でも旅気分？
大磯町 岸下厚子

評

今の世の中をうまく表現されています。作者の、今は旅に行けないが、旅ができるようになれば、帽子をかぶって明るい色のバッグをもって行きたいな、という思いが作品に表れています。ファスナーが少し開いたところもいいです。（大上）

招待作品

山道に在りーサルトリイバラ 桜町 石田悦子
白い大鉢 城南町 内山幸子
笹の音 日高町道場 小田根登美子
蘇 引野 竹村一博
願・災禍鎮静 野田 秦榮一郎
黎 明下 陰吉田真弓

招待審査評

【絵画】総評 審査員 山田友子

一般の賞を重ねてこられた招待の部の作品は、表現方法、内容、技術面共に充実した作品が多く魅力的です。

今後の課題としては、マンネリズムの打開が必要なのではないでしょうか。

【書道】総評 審査員 明石聴濤

地元の書道文化向上を担う幹部候補生である事を認識して、日々地道な習練を重ねてほしいと思います。

独自性を強調し、色々古筆から習得し、筆技の多用を身に付けると多彩な作風が書けるようになり、書く事が楽しくなるのでは。

【写真】総評 審査員 江口慎一

招待作家の皆さんの作品は、やはり手馴れた表現テクニックやそれぞれの表現意図が明確に読み取れ、個性味あふれる作品がほとんどでした。これからも、さらにレベルアップを目指し、よりオリジナリティに富んだ表現を求め写真をもっともっと楽しんでほしいと思います。

【彫刻・工芸】総評 審査員 大上巧

前回は思いましたが、招待になるともっといい作品を作ろうとして、空回りしたり、つつい手をぬくことが誰にでもあります、今回はそれがより出てしまったように思います。一般の部に出品する方の見本となるような作品の出品を今後期待します。

一般の部

(五十音順・敬称略)

絵画

市長賞

無言歌

戸牧山居茂樹

評

とてもユニークな作品で、本展の中では、一際目を引く存在感が感じられます。支持体の形と、描かれた円形部分との関係がまずは意識に上り、続いて円形がコロナウイルスの形状を表しているのではないかと、そして内部に取り込まれた人物は、コロナ禍における私たち自身なのではないかと、といった想像が湧いてきます。作者の意図を汲んでいるのかどうかはわかりませんが、状況を意識したテーマ性に魅力を感じました。(初田)

議長賞

錦秋の円通寺

京丹後市 岩崎雅夫

評

一見して完成度の高さと表現力の確かさが伝わってくる力作だと思います。紅葉の美しさに誘われ、思わず、描かれた風景のなかに引き込まれてしまいそうです。画面左下の、秋空を映しこむ水面の表現が、画面に変化と奥行きを与えるポイントとなっていると思います。坂道をゆっくりと歩く人影は誰なのだろうか、想像を楽しむこともできますね。(初田)

教育委員会賞

金魚殺人事件「つぶされた時間」

宮津市 細見茂樹

評

昨年の市長賞受賞作家による作品で、今回も色調の整いや質感の立ち上がり方などに、独自のリアリティと安定感が感じられる力作だと思います。「金魚殺人事件」シリーズの6作目になるのでしょうか、「つぶされた時間」という副題が付されています。食卓の前に張られた鉄条網に、壊れた時計が、コロナ禍による失われた語らいの時間を表しているのでしょうか。(初田)

商工会議所会頭賞

舟

屋

京丹後市 森本薫

評

希望の海へ今舟が旅立とうとしているのでしょうか。余分なものを省略した構成が美しい。鉛筆によるモノトーンが心に響いてきます。(山田)

文化協会賞

生きる

朝来市 野崎武司

評

老木に寄り添う白い樹は若く新しい息吹きを現しているのでしょうか。樹林を社会に見立て共に生きる姿が感じられます。根幹の静かな光の輝きが明るい未来を予測していて美しい。(山田)

特 選

災厄の夏、光を探す
 出石町小人 小 谷 剛
 ミ カ
 小田井町 島 田 勝
 古 び た 窓 と 蔦
 日高町国分寺 俵 秀 明
 今日 雨、時々花
 土 渕 西 村 夏 海
 薄 氷 の 日 常 2021
 野 田 秦 榮 一 郎
 京丹後ジャージー牧場の仔牛達
 気 比 山 口 和 則
 秋 思
 山 王 町 山 本 裕 夫
 初 冬 の 名 張 川 夕 景
 与謝野町 吉 岡 正 和

入 選

麒麟獅子 戸 牧 赤 松 隆 之
 生 き る 正 法 寺 芦 田 興 作
 早 朝 の 街 出石町川原 天 野 良 昭
 2 0 2 1 ・ 刻 祥 雲 寺 上 田 晴 彦
 夢 中 朝 来 市 上 村 督 正
 観 音 寺 に て 出石町伊豆 狩 野 和 子
 朝 採 れ 大 根 京 町 岸 本 明 子
 花 日高町日置 北 村 博 司
 夏 の 思 い 出 高 屋 齊 藤 妙 子
 白日の H e n g e 小田井町 島 田 千 晴
 せいとも in KOBO 香 美 町 清 水 愛 花
 夢 の ト ン ネ ル 京丹後市 清 水 純 子
 古 民 家 高 屋 瀬 崎 研 治
 追憶・竹田牛市場 朝 来 市 但 馬 豊 川
 きつとまた会える 戸 牧 友 田 史 江
 お も い で 日高町石井 中 嶋 陽 子
 夜明けのオーケストラ 竹野町御又 西 村 恒 彦
 彼 の 便 り 塩 津 町 野 竿 進
 土 蔵 桜 町 橋 本 俊 郎
 私はブロッコリーです。 日 撫 土 生 田 静 子
 陽 春 京丹後市 福 田 修 一
 秋 思 養 父 市 三 方 和 也
 冬 支 度 出石町町分 森 本 省 三
 花 畑 日高町江原 百 合 岡 孝 夫

絵画 審査評

審査員 初 田 隆

2年目の審査となりましたが、今回も、表現技術・個性・感性・表現内容などの面で、見ごたえのある沢山の作品と出会うことができました。特に具象表現には密度の高いものが多く、感心致しました。

また、テーマ性を持った作品、独自の工夫やこだわりのある作品、生活感や思いが伝わる作品などに魅力を感じました。更なる造形的な冒険、新たな自分を拓く表現を期待しております。

書 道

市 長 賞

李 嘉 祐 詩

京丹後市 赤 木 麗 佳

評

筆勢良く、気脈一貫して流麗に仕上げられています。惜しむらくは、文字の懐が狭くなり、鋒先の開閉不足で、貴女の力量からすると迫力不足に感じます。
(明石)

議 長 賞

薩 都 刺 詩

日高町松岡 藤 本 翠 溪

評

四行を含量多く無難に収め、行間をゆったりと取り、余裕の作品です。二字連綿を主体に明快にスッキリと書き上げています。
(明石)

教育委員会賞

君 が た め

丹 波 市 大 槻 美 紀 子

評

単々と腕の振りをゆったり、大きく振って古意のある書き振りが魅力の好作品の仮名です。行間・縦への流れも絶妙でセンスよく書けています。
(明石)

商工会議所会頭賞

微笑み
日高町石井 三木 雪華

評

鋒先の押さえが利いて、厚味のある線條でしっかりと書き込まれています。少し後半2行、文字が大きくなりましたが、自分の意志を主張しているようです。
(明石)

文化協会長賞

月夜花下小酌和友人
竹野町竹野 安田 友苑

評

懐広く悠大に書いています。その為か、縦への流れが不足して、文字がポツポツと孤立しているのが惜しまれます。線質の充実感が見事なだけに、今後、流れを出す様にすれば、一層の飛躍が期待されます。
(明石)

特選

岑 參 詩 二 首
京丹後市 小國 華園
閒 適
立野町 金子 美碧
踊 る 餅
榮 町 九谷 雪翠
父
下 宮 小畑 稻翠
漢 詩
三坂町 島 蓼花
古今和歌集
養父市 正垣 翠泉
何 景 明 詩
出石町町分 平木 璐翠
徳 才 兼 備
中 陰 細川 恵苑
秋 の 趣
正法寺 和田 星翠

入選

李白詩 京丹後市 井上 宗圓
窓戸被夜露濡湿 正法寺 小野 笑魚
洒掃応対 山王町 尾畑 翠庵
塞下 曲 下 宮 小西 美風
雨 後 京丹後市 坂本 青浦
録 別 其 三 京丹後市 佐藤 青波
顧 彩 詩 京丹後市 瀬戸 蕙華
韋應物詩二首 正法寺 達富 華苑
皇甫冉詩二首 京丹後市 田中 瑞雲
萬葉集 正法寺 谷岡 凌風
漢 詩 城崎町湯島 谷垣 小鈴
傳 若 金 詩 小島 西村 華香
伊藤左千夫の歌 千代田町 根兵 純蘭
送陸五臺之任 日高町万劫 原 薫 苑
張 九 齡 詩 小田井町 原田 清翠
八木重吉の詩 下 陰 広川 紫峰
大 義 滅 親 西宮市 福岡 凌石
王 漁 洋 詩 津居山 藤井 菖園
萬葉集 正法寺 前田 疎風
雜 詩 日高町山宮 松原 朱幸
北園克衛詩 京丹後市 水島 秀華
古今和歌集 戸 牧 森田 由香
若山牧水の歌 中央町 山下 富子
与謝野晶子の歌三首 泉 町 山本 佳世
西津別妓 元 町 山本 翠城

書道 審査評

審査員 明石 聰濤

コロナ禍の影響か出品作品も昨年より少し減小した様で、気持ちの高揚感があまり感じられません。

集中しての書き込み練習が出来なかった事が一番の要因かもしれません。地力のある招待の先生方の奮気が総合的飛躍に繋がりますので頑張ってください。

写 真

市 長 賞

荒れる日本海

朝来市 西村良平

評

乙姫様が舞い踊っているかのような神秘的な竜宮城をモチーフにして、それとは対照的な荒波とを絡ませ、迫りに溢れるひとこまが描き上げられました。絶好のシチュエーションを見極め、インパクトのある怒涛の瞬間を捉えられたカメラアイが見事。じっくりとベストのタイミングを図り、絵作りを吟味された跡がうかがえます。西村さんの秀でた感性と粘りの姿勢の賜物ですね。（江口）

議 長 賞

静

朝来市 宇都宮 遼

評

白鳥をモチーフにした表現はよく拝見しますが、この作品では一般的な視点ではなく、水面ギリギリの独特な視点から捉えたところが斬新で素晴らしい。背景に光を浴びた雪山を活かし、より抒情性に溢れ、凜とした空気を感じさせるワンシーンに仕上がっています。水面に映る白鳥の姿も趣があり、静寂感に包まれたファンタジックなひとこまにまとめられました。（江口）

教育委員会賞

し ず く の 詩

竹野町草飼 古林 邦夫

評

ひと雫が跳ね上がった瞬間が巧みに切り取られています。落花した桜の花姿と雫をブレンドし、見事なワンショットをゲットされました。水が作り上げる造形の妙味がシャープに捉えられ、実に独創的でユニークな逸品に仕上がっています。古林さんの熟達した表現力と一瞬の表情に的を絞った着想が光りました。（江口）

商工会議所会頭賞

吸

水

福 田 谷 口 俊 一

評

地面から吸水をするクロアゲハの姿が画面いっぱいに接写され、強いインパクトを放つ絵になっています。地面に腹這いになり、蝶の目線で捉えられた視点の斬新さが光っています。谷口さんのこの一羽の蝶に向けた思いと、表現に対する人並外れた熱意のほどが読み取れます。（江口）

文化協会賞

光 芒 の 滝

香 住 田 中 忍

評

光の演出効果を熟知した作者の鋭い感性が光りました。絶好の瞬間を熟知し、計算通りのひとこまが描かれました。拡散する光芒の煌めきと、優美な滝の表情とのコラボレーションが効果的です。みずみずしく味わい深い絵になっています。縦位置の構成と露出設定が文句なしです。（江口）

特 選

悠 久
宮津市 井上 敏和
厳冬の日本海
下鶴井 大形 俊
居心地よし
日高町栗栖野 岡本 員昌
夜明けの龍宮
加広町 北倉 清志
南無（な一む）
但東町相田 真田 義永
朝日を受けて
日高町万場 下田 明浩
出るの早過ぎたかな
日高町広井 谷田 一弘
晩秋の舞
養父市 中尾 幸郎
天使の時間
駄坂 中島 威
怒 涛
下陰 西垣 重信
静動一如
日高町野々庄 福嶋 力也
龍宮の舞
出石町水上 藤木 澄男
ちょっと一服
養父市 藤原 和實
玄武の水鏡
丹波市 細谷 昭二郎

入 選

舟 島 下陰 A i N R
夕ま ず め 朝来市 朝倉 征夫
夕 愁 日高町岩中 安達 健太郎
来日岳の朝陽 日高町江原 安達 満寿子
オリンピック直前 朝来市 足立 道明
シンク口 京丹後市 飯室 正吾
Ice Jewel 香美町 池田 芳久
棚田の秋 但東町高龍寺 井地 弘子
雲海に隠れる天橋立 宮津市 糸井 洋
躍 動 朝来市 伊藤 章
楽しいクリスマス 中郷 今井 義人
雛 誕 生 福田 岩崎 進
好 日 出石町町分 榮木 雅一
黄 昏 時 福知山市 木崎 誠
母なる円山川 戸牧 北本 重安

春の七彩 庄境 黒坂 清乃
夢のファンタジー 出石町福居 河本 なみ子
優 美 野上 小崎 晃
厳 寒 今森 小西 信雄
灯りの下で 香美町 小林 智之
森の叫びⅡ 庄境 高田 文夫
波を楽しむ 田結 高橋 富子
原風 景 養父市 竹下 重一
蜜を吸 う 今森 竹元 勇四郎
戯れ 中央町 田中 早苗
無償の愛 城崎町湯島 田中 照晃
朝日に輝く親子 日高町山本 田中 正紀
夫婦で愛の羽日傘 加広町 津禰 鹿豊
奏でる光 京丹後市 徳本 晃一
霜の詩 日高町市場 戸田 正樹
怒る顔面 朝来市 中井 勝之
美しい古城 正法寺 中井 成子
曙 戸牧 中尾 滋男
風雪去つて 日高町上石 中尾 清喜
故郷を想う 出石町袴狭 西垣 宗和
目覚め 朝来市 西村 弥生
葺き 但東町奥赤 能勢 健吉
冬仕度 城南町 羽賀 政之
美しき流れ 千代田町 浜崎 誠
彼岸花の咲く頃 中央町 福井 敬一
いただきっ！ 大磯町 福嶋 数之
なかよし 日高町野々庄 福嶋 琉希
斜光 江本 船越 利昭
毛嵐漁場 日高町江原 古川 五夫
雀の舞 竹野町草飼 古林 京子
煌めく「ミツマタ」 城崎町上山 細田 稔
よう来られました 朝来市 細見 政樹
涙の土俵入り 九日市下町 堀田 海之
葉陰の息吹 下陰 前平 照雄
『その先へ』 高屋 松岡 淳二
冬の蘇武岳の日の出 今森 圓山 慧人
黄金に染まる古刹 朝来市 三浦 秀樹
明日に向けて 出石町町分 湊崎 博
舳-MOYAI- 小田井町 森垣 雅則
紫陽花の咲く頃 福知山市 夜久 昇司
深山燃ゆる 戸牧 山口 恵一
コスモス 養父市 山本 一郎
愛 福知山市 和田 国広

写真 審査評

審査員 江口 慎一

昨年に続き、本年も作品審査を担当させていただきましたが、今回はコロナ感染の影響で自粛生活の中、あまり撮影にも出かけられない状況ながら、多数の出品があり、心より感謝しています。さまざまなジャンルのモチーフを捉えた幅広い表現があり、楽しく審査をいたしました。それぞれの作品を通して、出品者の皆さんの写真に向ける思いや物作りに対する熱い創作意欲が読み取れました。今回は残念ながら惜しくも入選、入賞を逃した方も、作品の出来映えは素晴らしいので、また次回、頑張ってトライしてほしいと思います。

彫刻・工芸

市長賞

エイ・ヤ一

出石町町分 村田 幸夫

評

竹の割ばしを 2500 本も使った気の遠くなるような作業量は圧巻の一言に尽きます。無数と思える竹を縦に組み合わせ、彫刻と研磨をくり返すことでの造形は、作者の明確な形態感と強い表現欲求の現れと言えるでしょう。完成度の高い作品と思います。これからの展開が楽しみです。(柴田)

議長賞

月の雫

養父市 高階 康之

評

今回の陶芸の中では、1 番の秀作です。作品の形、釉の流れ、線の流れと、どれも上手く表現されています。これからもこういう作品を作り続けてください。(大上)

教育委員会賞

チェーン

小田井町 島田 勝

評

タイトルが示す通り、チェーンをモチーフに黒塗りの合板を使った作品です。一般の部では唯一、床から自立した大作と言えるでしょう。均一化された各部分は互いに関係を保ち、ある種の集合体を形成しています。その全容は、実体とその隙間をくり返し、リズムカルな動きを感じさせます。(柴田)

商工会議所会頭賞

高 峰
但東町出合 清水 正和

評

作品の完成度はすごく高いです。しかし、まとまりすぎて、見る人に与えるインパクトは少し弱く感じました。今の技術を生かして、もっと動きのある作品にチャレンジされたらと思います。

(大上)

文化協会長賞

76年前と今
日高町知見 竹内 喜則

評

一見して、自然木と人体形の組み合わせは、強いシルエットを見せています。しかし「76年前と今」のタイトルが示す通り、メッセージ性を特長としている作品です。造形作品は技術と表現の両面から成り立っていることを感じさせてくれます。

(柴田)

特 選

猫
香美町 柴田 隆男
歴史を唄う時計台
神戸市 田中 典子
孫・ほのかちゃん
京丹後市 吉田 征四郎
開花の前兆
出石高校 綿谷 美咲

入 選

未来からの使者 祥雲寺 上田 晴彦
風 傷 水 激 出石高校 岡田 拓磨
しゃも(軍鶏) 新 堂 門 岡 正
羽ばたけ虹色 出石町伊豆 狩野 和子
麦わら細工 モンステラ 城崎町湯島 神谷 勝
お盆と花器(天然漆仕上げ) 船 町 北倉 通夫
BlackJack of the pumpkin 朝来市 佐藤 久美子
発芽間近か 香美町 澤田 篤
綻 ぶ 瀬 戸 清水 昌
清 い 水 但東町佐々木 多根 三和子
ハマダイコン群生(型絵染) 竹野町轟 田村 弘子
2021まさかの未来図 朝来市 中村 清次郎
美々しい 養父市 平山 清佳

彫刻・工芸 審査評

審査員 柴田 純生

第72回豊岡市展は、コロナ対応のため、会場をこれまでの豊岡市総合体育館から但馬文教府に移しての開催となりました。会場の関係から展示点数を減らすこととなり、その分応募作品も少なかったようです。

しかしながらその作品は、完成度の高い、見ごたえのある作品が多かったと思います。従来の彫刻・工芸部門の枠を越えた多様な作品が数多く見受けられ、審査は難航しました。これからも質の高い幅広い作品を期待します。

高校の部

(五十音順・敬称略)

絵画

市長賞

靴屋さん

近大附属豊岡高校 西村 乃亜

評

タイトルは「靴屋さん」。ぎっしりと並べられたスリッパからユーモラスな雰囲気を感じられるとともに、靴屋さんの店先の様子、客と店主の対話、そこでの日常などがイメージされるほのぼのとした味わいのある作品だと思います。同時にこのコロナ禍の状況で、人と人とは密集することができないかわりに、せめてスリッパがひしめき合う様子を描くことで、つながることの温かさを表現したかったのかなと感じました。(初田)

議長賞

感情を描く私

豊岡総合高校 辻田 舞夏

評

「画中画」。絵の中にもう一つの絵などを描くことで、作品に膨らみを持たせる手法ですが、自画像を描く自分の手を描くという構造で、鑑賞者に一層不思議な感覚を味わわせることに成功しているのではないのでしょうか。さらに、マスクを描くことで、現在の閉塞された状況への自分なりの気持ちを表現するという、「私の感情を描く」という制作意図がとてもよく伝わってきます。(初田)

教育委員会賞

自画像

豊岡総合高校 河原 裕武

評

さほど大きくはない自画像ですが、とても存在感のある作品ですね。特に左右の手の表情、右手は自然な感じで、左手は握りしめている。緩やかな感じと緊張感が、高校生の心のありようを、象徴しているように思われました。また、どこかを見据えているのか、何も見ていないのか、語りたいたのか沈黙したいのか、不思議な表情が魅力的です。(初田)

商工会議所会頭賞

mysterious xxcrash

福知山淑徳高校 松田 陽菜多

評

作者のイメージが自由奔放に描かれていて魅力的です。ジグソーパズルが未来の素晴らしい人生をうめていくのでしょうか。ポップな感性がcrashしないようにね!(山田)

文化協会長賞

美瞳

福知山淑徳高校 千葉 七海

評

猫は時折瞳を静止して一点を見つめます。その瞳孔の繊細な表現は、見る者の眼を引き付けてしまいます。小さな物を巨視化して意味や内容を印象深くしているのが良いです。(山田)

特 選

「その先にあるもの」
私 の A m u l e t
飛 び た い
う ら み ち
毎 日
福知山淑徳高校 坂本 愛海
福知山淑徳高校 竹添 莉央
福知山淑徳高校 田中 千尋
豊岡総合高校 宮下 美鈴
豊岡総合高校 和多田 成良

入 選

瓶とリンゴと牛骨と 葉
紅 猫 の 酒 場
いつまでも忘れない
集 会
雪 あ そ び
プ ロ レ ス
過去への後悔と未来への希望
ダーウィンの進化論
内気な心と閑寂
納 屋 の 一 角
ゲ コ ゲ コ
豊岡総合高校 遠 藤 歩
八鹿高校 大田 紗碧
出石高校 北村 春菜
豊岡総合高校 谷口 穂香
豊岡総合高校 東山 杏乃音
豊岡総合高校 藤井 彩加
浜坂高校 藤田 聖樹
豊岡総合高校 松原 愛梨
出石高校 山下 翔生
豊岡総合高校 山根 蒼唯
豊岡総合高校 百合 健一郎
福知山淑徳高校 吉崎 志音

絵画 審査評

審査員 山田 友子

今年は出品点数が少なくなっていたのがとても残念です。

既存のものにとらわれない自由な発想で益々制作に励んでくださる事を期待しています。

書 道

市 長 賞

臨 中 山 王 譽 方 壺
豊岡高校 松田 啓志

評

金文の起筆と終筆の筆技が高校生とは思われないだけの力量が窺われます。スキっとした線條が行間をスッキリと明るく見せて成功。市長賞に相応しい作品です。今後は行草にも挑戦してください。(明石)

議 長 賞

元 斑 妻 穆 玉 容 墓 誌 銘
出石高校 川中 希乃花

評

墓誌銘の楷書を的確に捉え、丁寧な運筆で横広がり文字でしっかりと収めています。書き出しが大きくなり、縦横・左右の並びが不揃いになっているのが惜しまれます。縦面・横面の線の強さは魅力一杯です。この調子で頑張ってください。(明石)

教育委員会賞

臨 高 野 切 第 一 種
豊岡総合高校 伊東 恵夢

評

筆先を利かせて原帖をしっかりと観察して見事に再現させた力作です。かなり時間を掛けじっくりと仕上げた様です。鋒先の開閉が自然で無理なく太細が出来てうまみが有ります。観察力には自信を持ってください。(明石)

商工会議所会頭賞

吳昌碩臨石鼓文

豊岡高校 成田 七海

評

文字造形の捉え方は流石ですが、筆勢が感じられません。運筆速度の遅速変化を取り入れ、今少し強さを増して欲しい。少し字数を減らして大きめに書くと、線質が生かされるのではないのでしょうか。(明石)

文化協会会長賞

臨 何 紹 基

豊岡高校 岸 灘 美 鈴

評

何紹基の特徴を的確に捉えての好臨です。更に線の太細、墨の潤湯、文字の大小変化が加味されると一段の上達が見込まれるでしょう。しかしながら、高校生の貴女には二王か米芾を習い込んでしっかりした骨格を築いて欲しいです。(明石)

特 選

摩訶般若波羅蜜多心經

日高高校 池田 光 希

王 鐸 臨

近大附属豊岡高校 小林 歩 未

臨 魏 靈 蔵 造 像 記

出石高校 古村 倅 奈

臨 高 野 切 第 三 種

出石高校 中西 野々花

臨 自 書 告 身 帖

豊岡高校 畑 中 舞

入 選

祭 姪 文 稿 出石高校 秋 庭 郁 陸

漢 詩 日高高校 梅 本 藍 梨

漢 詩 日高高校 大 嶋 絢 花

臨 松 風 閣 詩 卷 出石高校 岡 本 汀

臨 楷 書 千 字 文 日高高校 亀 村 未 歩

臨 道 因 法 師 碑 豊岡総合高校 川 漣 江 梨

臨 玄 妙 観 重 修 三 門 記 出石高校 川 見 萌

馬 戴 詩 八鹿高校 北 原 明 依

張 瑞 函 臨	豊岡高校	木 村 歩 禽
臨 九 成 宮 體 泉 銘	日高高校	桑 田 綾 子
王 之 渙 の 詩	豊岡高校	齊 藤 明 日 香
臨 牛 橛 造 像 記	豊岡高校	戸 田 こ ころ
臨 蜀 素 帖	豊岡総合高校	柱 谷 杏 実
臨 多 寶 塔 碑	日高高校	古 川 舞
臨 風 信 帖	日高高校	堀 田 莉 那
臨 道 因 法 師 碑	豊岡高校	吉 田 綾 乃
臨 玄 秘 塔 碑	出石高校	吉 田 楓

書道 審査評

審査員 明石 聰濤

コロナ禍の影響の中、学業の勉強と書道を両立させながらしっかりと練習された秀作が目立ちました。大作は全て入選以上にしております。しかし、誠に遺憾ながら、落選もありますので、半折で文字が大きかったり、行立ての悪い作品は涙を飲んでいただきました。

児童・生徒の部

(五十音順・敬称略)

図 画

◆ 幼 児 ◆

【推 薦】

おとうさんのハサミかっこいいね	角 金 滉
こころをひとつに パラバルーン	嶋 崎 綾 音
おいそがしのありさん	仲 義 龍 月

【特 選】

いもほり	いのうえ ゆうな
ふうせんかずにのったよ	蛭 子 蓮 斗
がんばった!たのしかった!たいこ	ごとう けいた
ひこうきで2ほんたけのこつりあげた	田 中 康 介
たじまうし おおきいな	田 中 晴 喜
なにがいるかな?いそかんさつ	なかじ けいと
たまをたくさんいれたいな	西 村 明 紗
おおきなざりがに	は の じん た
カマキリさんとにらめっこ!!	平 松 春 道
シャワーつめたい!!	村 上 真 翔
あめがだいすきかたつむり	やじ じゅんりん

【入 選】

青木 悠人	赤坂 安梓	浅井 小羽那
いずみやまめぐり	大伴 椰心	おおにし こと
岡山 ひなの	おかやま みなと	おがわ おうが
加藤 瑛人	河嶋 恋羽	川瀬 吏翔
岸 佑 吏	衣川 乃穂花	きのしたりく
こたに りなこ	ごとう こうた	坂本 心寧
坂本 侑芽	佐 崎 鈴	塩川 湊翔
しょうはら かんた	須藤 未来	瀬渡 寛太
たなか ゆうだい	とみぬき しゅんた	中 井 珀
中 島 椛	なかの りお	長村 優愛
なりた いろは	にしおか ひまり	野村 一太
橋本 夏穂	ばんば はな	藤村 小梅
藤原 遥大	舟 引 滯	蓬 菜 凜
松岡 紗羅	やまぐち こはる	やまの まさひろ
由良 好未	吉野 航矢	

◆ 小学1年 ◆

【推 薦】

ケイトウの花とカマキリ	太 田 絢 心
しんかいの大けっせん	原 田 透
きょうりゅうとうちゅうへおでかけ	松 田 結 聖

【特 選】

さかなといっしょにおよいだよ	安 房 晴 香
海の魚たち	伊 藤 結 乃
きれいなうみのなか	稲 田 悠 鈴
コスモスランドであそんだよ	岡 田 瑞 希
たつのおとしご	川 端 心 琉
やったあ 大きないもがとれた	木 下 蒼 真
バッタのあき	須 磨 佑 斗
きよだいなさかながあばれるうみ	竹 中 翔 麻
大きないも	谷 口 晴 宗
さかなといっしょにあそんだよ	田 村 基 博
バッタとうんどうをしているよ	中 川 星 空
からふるさやえんどう	橋 本 樹
さかなとおよいだよ	吉 田 雪 華
あじさいランドであそんだよ	吉 元 心

【入 選】

浅井 莉愛菜	足立 拓人	荒木 優人
伊井 夏梨	生嶋 紬希	磯崎 鈴
今西 瑠奏	上坂 莉央	榎本 朔
大江 心音	大垣 善	大島 颯天
岡山 椋哉	梶原 稜丘	片岡 悠希
兼末 優弥	狩野 聖陽	岸田 実佳
久保田 十花	鞍谷 采奈	小谷 壬希
小林 凜	小山 咲貴	酒井 煌介
信部 世風	シャーマン ジャック	田中 応晴
田仲 陽翔	田中 陽万里	千野 里沙
寺田 花恵	土肥 千慧	中島 惟吹
中村 玲也	中安 恒二	西岡 遥
西川 琴音	西村 琴音	長谷川 琉杏
羽瀨 心陽	福島 康士朗	藤本 結女
堀名 栞風	増田 海一俐	町田 愛海
松岡 紗帆	松下 希心	松本 恵
三谷 愛奈	村上 渚	森脇 依恋
山崎 彩羽	山本 慎馬	湯浅 仁裕
百合 煌貴	和多田 好志	渡部 正志

◆ 小学2年 ◆

【推 薦】

ザリガニバトル	伊 藤 翔 馬
ダンスダンスロボ	山 本 恋 大 朗
やさいえりまきトカゲのレクくん	山 本 瑠 活

【特 選】

ぼかぼかひまわり	青 山 愛
みつをすいにきた みつばち	石 割 丞
わたしのすてきなぼうし	伊 藤 紗 弥
きれいな生きものがいっぱい ダイオウイカのせかい	大 畑 琴 弓
こいのぼりにのって	河 合 し お り
元気なザリガニ	川 中 朱 莉
楽しい休み時間	岸 本 莉 珀
ゆうかなりゆう	木 村 雪 乃
にじ色の魚のかわいいかぞく	澁 井 綺 子
まん月の夜におどっているねこと花	田 垣 心 奈
小人たちにつかまったガリバー	寺 本 美 琴
雨の中のあじさい	西 村 優 那
虫とあそぶゆめの中	野 澤 三 矢
じゆうのおしろ	橋 本 陽 菜
トマトをかんさつしたよ	福 富 玲 緒 奈

【入 選】

池 本 大 和	市 場 千 歳	稲 葉 和 志
稲葉 友紀奈	犬 伏 奏 太 朗	井 上 茉 愛 香
岩 井 慶 人	岩 城 和 奏	植 松 愛 美
上 村 鳳 仁	大 下 瑛 愛	太 田 垣 公 亮
岡 本 陸 玖	尾 川 樹 生	荻 野 雄 萬
奥 琉 斗	澤 瀉 珀 都	柏 原 愛 莉
勝 川 新 太	川 瀬 菜 々	川 本 望 結 夏
岸 本 千 咲	木 村 知 杏 子	木 村 心 梨 愛
小 坂 優 斗	小 島 花 緒	小 林 拓 也
近 藤 蓮 矢	佐 竹 那 緒 哉	高 階 紅 巴
竹 村 悠 希	立 脇 成 絆	田 中 咲 帆
田 中 美 桜	田 中 悠 稀	田 中 結 子
谷 垣 美 羽	谷 山 未 来	得 田 敢 太
永 井 愛 莉	中 尾 颯 汰	仲 川 明 花
中 島 琉 唯 人	中 村 晃 大	中 村 朔 太 郎
中 村 大 和	鳴 海 玲 奈	野 澤 虹 心
能 勢 絵 理 奈	福 井 里 紗	藤 原 旺 生
松 田 唯 瑞	宮 田 翔 生	宮 森 ら ら
守 本 結 衣	山 本 結 佳	由 良 一 悟

◆ 小学3年 ◆

【推 薦】

海の中で	鳥 尾 奏 太
はやい魚	中 嶋 陽 希
初めてのリコーダー	森 谷 琉 生

【特 選】

ホテルがりの夢	足 立 直 哉
雨の日のアジサイ	足 立 実 来
かたつむりとあじさい	石 井 結 衣
初めてのリコーダー	伊 藤 菜 子
動物とすごせる木	小 川 璃 乃
UFO?	小 山 隼 隼
かがやくアジサイ	信 部 愛 葵
ちきゅう魚	谷 口 翠 唯
全力運動会	椿 野 莉 乃
ミズバショウとこいのぼり	中 川 結 愛
オオサンショウウオといっしょに泳ぐわたし	西 垣 玲 那
コウノトリの幸せな世界	西 田 優 宙
コウノトリとうちゅうへ出発!	馬 場 祐 心
まぼろしの深海魚	廣 瀬 き な り
しんころう	松 永 茉 步
ホテルがりの夢	山 本 長 慶

【入 選】

赤曾部 心丸	足 立 茉 子	足 立 真 悠
阿保 那々果	天 野 颯 真	天 野 慈 美
荒 井 優 多	有 村 侑 記	井 垣 諒 香
石 田 芽 愛	伊 地 智 優 太	井 上 栞 那
今 井 陽 愛	上 杉 岳	上 田 健 心
榮 家 絃 汰	遠 藤 滉 太	遠 藤 紬 々
大 江 陽 真	岡 本 圭 右	片 山 寧 々
木 村 隼 琉	久 保 田 柚 月	甲 田 陸
小 谷 碧 音	齊 藤 菜 月	澤 田 智 広
関 楓 果	瀬 渡 遥 仁	竹 藤 あ かり
田 中 迅	田 中 里 彩	谷 佳 央 理
谷 口 蒼 和	谷 山 蒼 太	中 嶋 優 那
中 嶋 理 咲	西 尾 禪	芳 賀 香 和
長 谷 川 杏 琵	原 海 瑠	平 位 晃 義
藤 原 光 汰	古 川 結 翔	古 田 尊 琉

北條大地 前原愛 松下智 南陽花
 松原咲菜 丸尾航輝 水上宅愛 緒々
 水嶋康喜 水田仁夏 三宅本喜
 村尾佳祐 安岡稟琥 柳山本喜
 山下茜 山田朱音 山本喜
 渡邊美結

中瀬愛佳 長峰燈真 中村梓
 中村颯太 中村遥斗 中村麗空
 鍋田朱音 西浦慶成 西田瑠璃
 西原光希 橋本琉一朗 濱桜來生
 平石稜 平尾花音 藤尾悠生
 藤次玲香 古屋知花 万戸頼斗
 三角虹心 三石結愛 向原優芽
 森垣日葵 守本絢音 八木田紗羽
 吉岡杏夏

◆ 小学4年 ◆

【推薦】

生き物探せ 藤原優志
 ぼたんといっしょに 水田煌太
 秋の花ばたけ 茂上侑香

【特選】

ドーン でっかい花火！ 足立有俐
 真夜中の自転車旅行にレッツ・ゴー！ 伊地智穂香
 伝説の宇宙の花 上田明慶
 動物ホテル 岡下創
 ゆめみたい！小さくなってぼうけんだ 小田昂良
 駅に止まるキハ 黒崎道真
 大きなヘチマ 小谷建人
 トンボたちとまぼろしの花 後藤真桜
 うんていをしているぼく 坂岡凜空
 自転車に乗るぼく 鱈凜太郎
 平和な海 高田圭人
 ひみつの公園 西畑安佳里
 特別なニコちゃんマークの花 長谷唯斗
 カラフルなりゅうと友だちになったよ 長谷川明星
 ジャングルの花 山本蒼恭

【入選】

愛原めい 荒川涼 飯田心春
 家城羽菜 上坂眞世 上田百合加
 上山真林 越中梨乃 太田翔
 大谷未侑 岡本笑美 小田垣真桜
 河見虎徹 菅野瑛大 久木留大雅
 小谷苺花 小西進太 米谷誌乃
 齋賀結衣 齋藤日七 坂本奏
 峪口仁菜 佐田実果歩 篠原斗真
 清水陽咲 清水結奈 白岩優真
 竹中夢芽 田中佐和 田中志歩
 田中麻菜美 谷口さくら 谷口笑子
 玉島美玖 徳田璃玖 長瀬雅都

◆ 小学5年 ◆

【推薦】

ランキュラスの花畑 小山風卯
 星の中で 田水心麗
 タぐれのコウノトリ 宮本悠誠

【特選】

空からカラフルな風をふかせます 裏戸彩里
 麒麟獅子 大首絵 岡島佑華
 どんな未来に 小川琥太郎
 私の中嶋神社 川端仁心
 作るぜ！最高のかくれ家 坂田夏規
 風神の乱 下垣大耀
 タやけヘチマ 谷岡功太
 花ちりゆく桜 田村侑
 未来へ向かうくつ 中川安奈
 ランキュラスにたわむれるチョウ 南光海翔
 マイネーム・ロード 廣島志音
 何かを見つめる自分 福尾圭悟
 体育館の一輪車 増田琉結
 緑豊かな中嶋神社 松島志龍
 宇宙電車の町 松田莉歩
 本気でいくぞ！ 武藤辛一
 隆国寺 村尾柚季

【入選】

池垣稟子 伊田梨依菜 伊東日向
 岩本桃佳 上垣遥都 上坂彩
 上村百合 大井康平 大田智貴
 大月遥登 大坪爽世 大西絵莉
 岡本樹 奥田奈央 垣尾昂佑
 金谷壺和 木村彩那 河本美玖
 後藤明美 小原百恵 小山日向汰

近藤 ひなの	清水 心音	清水 大地
杉立 優羽	杉山 瑛俐	瀬尾 寧来
仙賀 有菜	竹中 凜	田中天 獅郎
田中 柚葵	民野 佑樹	津田 陽風
寺西 礼	富江 紗代	永井 結菜
長島 茜	中島 翔	中西 芙羽人
中村 心海	西垣 まこ	西田 一葉
西村 魁晟	西村 元希	西脇 愛羽
沼田 琴美	根岸 愛奈	能勢 香里奈
濱心 優	福岡 玲音	藤原 日菜乃
藤原 柚希	古西 莉央	間島 璃依子
丸山 蓮斗	皆木 彩更	夜久 航亮
安井 聖	山口 春門	山田 虎汰朗
山田 翔大	由良 真佳	吉澤 美玖
米田 愛美	和多田 陸人	

◆ 小学6年 ◆

【推薦】

風神雷神図	上坂 誠志郎
わたしの大切な風景「八十八か所の森 出口」	九谷 明生
大宇宙をわたる船	三木 暁史

【特選】

ひそひそひそひそ 作戦会議!!	東 萌
大ジャンプ	生田 将大
咲き誇れサザンカ	今村 醍成
毎日替えた外国語の掲示板	大手 大輔
白の旅	岡田 樹希
私の楽器	鴨谷 桜
魚と海の中の自分	岸之上 琴未
かにの兄弟 魚を見上げる	木谷 菜々花
わたしの大切な風景「近所の象岩」	久保 優奈
ぼくの大切な風景「願いをかけた港大橋」	熊本 琳太
まぼろしの龍	小谷 英理奈
6年間見守ってくれた松の木と校舎	小林 あおい
弘道小学校の風景	柴原 一花
海の命と宝	戸田 陽
波と一緒に泳ぐ鯉	中屋 友葉
墨と色彩の世界	西川 裕麻
城崎温泉の柳	水野 真佑
パラレルワールドの中の自分	森 脇 嶺

【入選】

足立 遥香	安達 琉馬	荒田 凛
居相 優奈	飯田 蒼梓	石井 元温
石田 煌	井上 幸大	今井 大智
植田 希美	大武 星愛	小椋 聖
尾崎 心香	小田垣 綾夏	勝川 さゆり
岸本 司	北垣 蓮	京極 結乃
熊野 壮	小柳 梨湖	齊藤 綾乃
齋藤 華穂	佐伯 尚亮	鱒 太星
塩原 丈助	塩原 千代	柴田 莉愛
清水 鴻	杉山 愛未	関岡 鮎美
高井 音	田中 駿介	田中 晴汰
田中 結衣	田中 優一郎	谷垣 想太郎
田原 由愛	仲治 ゆかり	中島 叶暖
中島 颯一	中嶋 剛虎	中島 翼冴
中瀬 仁	名城 果歩	成田 啓伍
成田 瑠翔	西岡 茉華	畑村 柚希
蜂須賀 泰斗	羽瀨 琥珀	日神美 晴斗
枚田 葵衣	藤野 眞衣	藤本 杏
真狩 暖	松本 憲史朗	松山 緋奈乃
水島 月菜	宮垣 凜	森 杏樹
守谷 葵羽	矢崎 桃子	安田 愛
山崎 逞斗	山田 翔斗	山根 睦也
湯口 嵩輔	百合 奏人	横尾 信太郎
脇坂 梨王南	和田 夏希	

◆ 中学1年 ◆

【推薦】

私の好きな琴引浜の風景	奥藤 ちひろ
竹野浜に続く道	原田 隆乃介

【特選】

りんごと空ビン	鎌田 大地
佇む	田中 登和子
一輪車	濱崎 心春

【入選】

吾郷 葉月	足立 実咲	栗田 和人
家崎 美鈴	池上 瑠那	伊崎 晴咲
井上 京香	植村 初音	大海 歩埜
岡田 優菜	小河 滯央	小野 由莉葉
木内 彩葉	菊池 渉太	北垣 羽菜

北出和泉	小坂雫	芝野良夢
清水のな	須山美羽	関晴海
竹田朱里	田中ことこ	田中悠依
谷垣優衣	谷口琉心	田村星空
近嶋葵	塚原明日香	角岡芽依
中村奎	西垣義翔	橋本ひなた
橋本桃佳	長谷川陽南	林蒼大
松岡くるみ	松島煌明	宮下廣佳
森大和	森田愛茉	横川心優
吉田安里	吉谷愛花	米田花音

◆ 中学2年 ◆

【推薦】

水面に映る	重本倅汰
森の中のお寺	田中英春

【特選】

喫茶店	大月埜愛
広大な自然	谷垣煌大
キャンプ場のコンテナ	村瀬希和

【入選】

浅田恵璃	井上未徠	井上優里
大西妃楽	岡田采夏	奥山志乃
尾崎奏太	小野真滉	加藤歩奈
北村亘輝	齊藤光咲	齋藤里心
齋藤璃子	坂田ひなた	澁谷樹
嶋田諒哉	城下千璃	田口結麻
田中海里	田中来実	戸田流樺
中嶋彩月	成田海桜	成田紗和子
西隼翔	西谷陽生	西村茉莉香
八田裕介	藤田奈那	藤村輝
藤本彩花	帆前七菜	松本悠来
森垣音奏	山本紗都美	吉井柊平
吉岡緋奈乃	渡辺一颯	

◆ 中学3年 ◆

【推薦】

集靴	谷垣心優
	吉尾みなみ

【特選】

大切な時間	尾畑衣舞
洗濯日和	坂本結菜
赤く染まり始めた町	真鍋莉胡

【入選】

浅田修斗	芦田正広	東さくら
足立心琴	荒木栄翔	池内悠真
今井咲良	植田みのり	植松心結
植村悠斗	魚崎望	大上孝太
太田佑奈	奥田遥哉	小田垣萌果
柿本大武	柏村優羽	加藤明日香
加藤翔悟	亀村ちひろ	河合みのり
木内陽斗	岸本一依	北川楓華
木多見凌平	木下陽向	木和田若夏
久畑潤	黒田裕斗	小谷真凜
佐谷優輔	下垣果永	宿南涼香
峻春乃	杉田和奏	杉山愛実
炭屋七瀬	高階彩羽	武縄真依
田中歩夢	田中海璃	戸田愛夏
中川翔正	長谷川梨子	簾谷光
平山歩璃	細井渚沙	堀江望来
松井陽輝	三田純鈴	宮垣ゆみ
宮崎愛依	村上寧々	森本悠斗
山田樹莉	湯口叶望	和田望

図画 審査評

審査員 初田 隆

次のような作品がいいなと思い、選ばせていただきました。

- ①はっきりと思いが伝わる作品
- ②つぎつぎにイメージが広がっていく作品
- ③だいたんな工夫がある作品
- ④たのしい作品
- ⑤かんだうのある作品
- ⑥しっかりと取り組めた作品

6つのポイントの最初の文字を順番につなぐと「はつだたかし」となります。私の名前です。審査、楽しかったです。

習字

◆ 幼児 ◆

【入選】

あだちしょうたろう いしだ あおい うえがき あやな
うえさか あゆむ きしもと ゆうい ささ山じゅんべい
さの ゆうと なかの りお にしだ たつき

◆ 小学1年 ◆

【推薦】

上 上すぎ いちか
に じ 坂本 ののか
山 ふじわら ちづる

【特選】

上 いそべ かいり
山 中村 えま
山 本山 こまり

【入選】

たかはら いっさ とくみ さな はなと ともや
まつだ さくと

◆ 小学2年 ◆

【推薦】

一 生 さの けん人
天 上 中お花えら
手 ふくい 大すけ

【特選】

星 足立 もにか
牛 いなば かずし
牛 かとう ゆうご
生 岸田 るん
光 小じま きい
一 生 土 ひ ゆう

い ぬ 中村 そう太
星 細川 たいき
里 森田 希子

【入選】

あさくら ここな いざき なおと 市ば 千とせ
いとう しょうま いの上 ひな いばらき あかね
川本 りく 木下 りっか ささ山 ゆい
たちばな あかり 田中 みお 田ぶち ともき
田ぶち なおき たり あまね つぼうち もこ
寺谷 あみ 中川 すみれ 西畑 結貴
ねひょう よりか はら さや ふく井 りさ
みやじま ささら 宮森 らら 森本 じゅんな
山下 みる

◆ 小学3年 ◆

【推薦】

人 生 小じま 昌き
星 谷村 しゅん介
空 三木 はると

【特選】

空 石谷 大和
山 上 いとう 百音
山 寺 川口 結
花 木内 祐太
筆 木村 はるき
馬 谷佳央理
大人 小 谷垣 悠人
人 生 永澤 芽依
花 森谷 琉生
花 与田 海晴
わたなべ さやか

【入選】

足立 大河 阿保 那々果 伊東 麗
今い えれな 遠どう 紬 小川 りの
柿本 あい かじ川 る有 北村 ゆうは
坂田 ゆめな 相良 叶音 島中 りな
清水 凜空 しろ下 おうが 高原 楓
竹中 想真 田中 咲楽 田なべ 大き
谷垣 ゆう李 仲島 英里 中田 有咲

仲西結理 中村ひろ希 西岡ゆう
 福田真夕 松田美桜奈 真鍋まひろ
 皆木開智 宮森暖人 和田のぞ未

◆ 小学4年 ◆

【推薦】

人大文 形仏化 小田垣真桜
 西浦慶成
 吉谷幸平

【特選】

天水山文水平大水人山 然玉里化玉和志玉形里 足足井片小羽平福森和 立立上岡山柴尾田田 陽真羽優紗蓮花悠夏優 咲央菜結菜人音那希奈

【入選】

足田愛莉 足立紗依 石野智基
 上田英 岡下創 嘉藤ふたば
 加藤和奏 金下修大 木村知溜
 高橋悠人 たけなわ真奈 竹村ほのか
 田中志歩 田村蘭那 中井優希也
 中島咲穂 西岡陽咲 西田結香
 根岸悠奈 宮垣翔 茂上侑和
 本山れんと 森垣日葵 山根和也
 山本咲帆 吉田満里亜 渡辺萌奈

◆ 小学5年 ◆

【推薦】

大創天 志造地 田谷濱 中垣田 柚琉彩 葵衣空

【特選】

人世登成大大成出大平天 形界山立地空立功発漁和地 岡岡川甲城田谷土鳥西平古 愛野見野下口垣肥居村位池 莉香優来清真花愛安人杏子

【入選】

市場葵 稲垣悠華 稲葉陽人
 大西彩加 大西原繪莉 鍛治畑里桜
 金下真央 川川原悠衣 北村戸悠希
 木村壺咲 木村島彩那 坂毛本天心陽
 國眼結菜 小杉立優羽 田中井心
 相良遥音 谷川香子 藤宮口心紗 松島田志龍
 長谷川彩更 皆木修明 森垣かえで 柳澤 咲希

◆ 小学6年 ◆

【推 薦】

地 球 岡 本 真 優
成 功 中 村 凜
道 徳 野 竿 虎 太 郎

【特 選】

天 然 江 口 瑠 美
大 地 衛 藤 智 彩
活 発 大 武 星 愛
理 想 岸 本 葉 月
挑 戦 谷 垣 芽 衣
伝 統 堀 座 理 央
地 球 地 弥 唯
天 想 水 野 真 佑
理 徳 宮 垣 凜
聖 徳 三 宅 桃 菜
大 地 三 宅 桃 菜

【入 選】

足 立 さくら 穴 田 桃 心 井 藤 杏
井 上 晴 香 今 西 悠 太 植 田 希 美
加 藤 美 和 金 下 愛 奈 金 下 來 未
古 嶋 花 恋 駒 居 美 咲 坂 田 成 実
澤 田 杏 朱 田 中 美 咲 谷 垣 想 太 郎
谷 垣 梨 香 久 田 結 愛 田 里 奏
峰 須 賀 泰 斗 久 田 秋 桜 細 見 悠 月
真 野 友 里 水 田 紗 莉 宮 部 結 人
安 田 晴 彦 山 根 睦 也 和 田 夏 希

◆ 中学1年 ◆

【推 薦】

貞 桂 冬 秀 木 村 彩 花
歳 月 不 待 人 田 中 登 和 子

【特 選】

山 光 澄 我 心 谷 垣 優 衣
至 誠 動 天 地 福 田 鈴 菜
理 想 の 実 現 松 井 梨 実

【入 選】

梓 野 梨 奈 上 田 采 尾 嶋 柚 南
川 口 里 桜 北 村 颯 飛 切 目 心 彩
小 島 颯 香 後 藤 結 愛 田 中 悠 依 莉
谷 垣 佳 音 寺 上 亜 依 莉 松 島 煌 明
峰 浦 愛 菜 宮 下 廣 佳 森 田 千 尋
山 下 優 芽 山 根 歩 果

◆ 中学2年 ◆

【推 薦】

秋 高 佳 風 月 城 下 千 璃 亜
理 想 の 実 現 谷 垣 春 花

【特 選】

歳 月 不 待 人 佐 伯 茉 優
人 生 感 意 気 辻 井 律 希
古 寺 絵 巻 物 藤 澤 碧 衣

【入 選】

岩 野 葵 太 田 葵 岡 本 愛 美
川 瀬 百 奏 木 村 爽 夏 後 藤 美 咲
正 垣 玲 奈 田 垣 永 恋 田 口 結 麻
谷 垣 友 理 西 川 葵 西 村 茉 莉 香
西 村 留 実 藤 本 美 優 古 池 楓
帆 前 七 菜 松 井 陽 菜 真 野 有 生
宮 前 和 奏

◆ 中学3年 ◆

【推薦】

清 秋 満 天 星 岡 本 美 優
吾 心 在 太 古 川 崎 麻 央

【特選】

万 物 生 光 輝 岩 本 千 尋
富 貴 浮 雲 平 岡 蒼 依
書 美 の 世 界 山 田 亜 希

【入選】

上 垣 春 菜 魚 崎 望 浮 田 青 空
小 田 垣 萌 果 家 現 莉 乃 加 藤 明 日 香
加 藤 ひ さ み 金 下 佑 稀 乃 神 矢 莉 音
川 中 美 柚 北 原 詩 乃 酒 井 慶 汰
田 中 陽 和 西 岡 穂 乃 花 西 村 実 優
長 谷 川 梨 子 秦 美 悠 濱 田 凛 空
松 田 奏 江 森 本 悠 斗 安 川 佑 奈
吉 谷 菜 月 与 田 風 紗

習字 審査評

審査員 明石 聰濤

学校・書道塾からの出品が20か所以上の中、バランスも考えながらはば広く選ばせていただきましたが、それでも片寄ってしまった様です。それだけ、普段からしっかりと教えておられる塾が多いという事でしょう。

地元の文化向上の将来に繋がる学生が一人でも多く育成される事をお祈りいたします。

予備審査評

予備審査員

【図画】

【幼児・小学校】

自分の描きたいものを楽しく素直に表現している作品が多くありました。立体作品も、それぞれの思いや動きのある作品がありました。

ただ、モチーフや構図が似たような作品もあったため、子どもらしい発想を大切にされた作品が増えることを期待します。

【中学校】

日常の生活や身近な地域を題材にした作品が多くあり、学年が上がるにつれて、技法を工夫して緻密に描いていました。

心象風景を表現したデザイン作品も多く見られました。今後も、みる人の心に響く作品が増えることを期待します。

【全体】

子どもたちの思いが伝わってくる作品が多く、大変楽しく見させていただきました。今後も、子どもたちが生き生きと楽しんで描いたり作ったりしていくことを望みます。

【習字】

【幼児・小学校】

ていねいで、かつのびやかな筆使いの作品が多く見られ感心しました。学年相応の課題選びが大切で、難度の高いものにチャレンジするのも良いですが、基本の運筆を大事にした作品の方が良い印象を持ちました。

【中学校】

それぞれの段階で培われた力と日頃の鍛錬の成果が作品に表れていました。生き生きとした線で自分らしい作品に仕上げていました。バランスを意識して書くことで、さらに完成度の高い作品になると思います。

【全体】

半紙に折り目のある作品があり、気になりました。汚れ等もありましたので、清書作品の扱いには十分配慮してほしいと思います。

第72回 豊岡市美術展 記録

■特別招待の部

	絵画	書道	写真	彫刻・工芸	計
出品点数	0	5	1	1	7
Web展示	0	5	1	1	7
実展示	0	0	0	0	0

■招待の部

	絵画	書道	写真	彫刻・工芸	計
出品点数	12	16	5	7	40
Web展示	12	16	5	7	40
実展示	1	1	1	1	4

■一般の部

	絵画	書道	写真	彫刻・工芸	計
出品点数	46	47	110	28	231
Web展示	37	39	77	22	175
実展示	13	14	19	9	55

■高校の部

	絵画	書道	計
出品点数	27	33	60
Web展示	22	27	49
実展示	10	10	20

■児童・生徒の部

図画

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
出品点数	142	181	189	197	195	209	225	106	88	129	1,661
Web展示	58	74	77	80	79	85	92	50	43	62	700
実展示	14	17	18	19	18	20	21	5	5	5	142

習字

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
出品点数	16	18	72	86	79	89	81	39	42	49	571
Web展示	9	10	37	44	40	45	41	22	24	28	300
実展示	0	6	12	14	13	15	14	5	5	5	89

■協賛展示

◎特別支援学級 児童・生徒作品展 (Web展示)

■審査員

絵画・図画部門	はつだ たかし 初田 隆 先生 【2年目】 (行動美術協会会員、兵庫教育大学教授)	写真部門	えぐち しんいち 江口 慎一 先生 【2年目】 (日本写真家協会会員)
	やまだ ともこ 山田 友子 先生 【1年目】 (国画会会員)		おおがみ たくみ 大上 巧 先生 【3年目】 (陶芸家)
書道・習字部門	あかし ちようとう 明石 聴濤 先生 【3年目】 (日展会員・兵庫県書作家協会会長)	彫刻・工芸部門	しばた すみお 柴田 純生 先生 【3年目】 (京都芸術大学美術工芸学科教授)